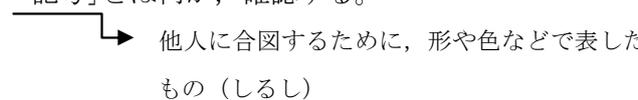
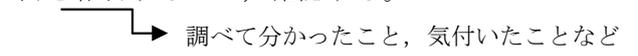


1 ねらい

「身の回りの記号について調べ、報告する文章を書こう」という単元のめあてを設定し、学習の見通しをもつことができる。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
15分	1 身の回りにおける記号や知っている記号について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「記号」とは何か、確認する。  ・教科書の絵を参考にして、どんなところでどんな記号を見たことがあるか経験を引き出す。 ・前もって集めていた記号を紹介させる。
10分	2 単元のめあてをつかむ。	
	身のまわりの記号について調べ、ほうこくする文章を書こう。	
15分	3 活動の流れを見通し、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習でできるようになったことを確かめる。（書く） ・「ほうこくする文章」について、説明を加える。 ・何を報告するのか、確認する。  ・相手意識や目的意識をもたせて、活動への意欲を引き出す。 ・p.54の初めの文章やp.55の「学習の流れ」を活用する。
5分	4 ふり返りをして、次時への見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のめあてや学習計画に立ちもどり、次時のめあてにつなげる。

3 評価

身近な記号に興味をもち、調べて報告する文章を書くためにどんな活動をするのか、学習の見通しをもっている。（発言、ノート）